

## I C T街づくり推進会議（第3回） 議事要旨

### 1. 日時

平成25年5月21日（火）10:00～11:30

### 2. 場所

中央合同庁舎2号館8階 総務省第1特別会議室

### 3. 出席者

#### (1) 構成員

岡座長、小宮山座長代理、石原構成員、岩沙構成員、清原構成員、須藤構成員、徳田構成員、村上構成員

#### (2) オブザーバ

農林水産省大臣官房統計部、経済産業省商務情報政策局、国土交通省総合政策局、国土交通省都市局

#### (4) 総務省

桜井情報通信国際戦略局長、福岡総括審議官、久保田官房総括審議官、阪本統括官、谷脇官房審議官、関情報通信国際戦略局次長、山田情報通信国際戦略局参事官、渡辺情報通信政策課長、中村融合戦略企画官

### 4. 議事

#### (1) 地域懇談会について

#### (2) 検討部会からの報告

#### (3) フリーディスカッション

### 5. 議事概要

#### (1) 地域懇談会について

事務局より、資料3-1に基づき説明が行われた。構成員からの主な発言は以下のとおり。

#### 【岡座長】

○塩尻氏と柏市を訪問させていただいた感想として、両市に共通していることは、市長が自分の地域の街づくりに極めて熱意を持っている点。また、市長をサポートするという意味で、塩尻市においては信州大学等が、柏市においては三井不動産等が一生懸命取り組んでおられることを強く感じ、市長が頑張るだけでなく、しっかりとしたサポート体制も必要だと実感。

○塩尻市では、センサーの利活用が非常に進んでおり、このセンサーを使った鳥獣

害対策によって20%の被害が減少したという報告を受けた。全国ベースで見れば、20%というのは非常に大きな効果をもたらすので、このセンサーによる鳥獣害対策は横展開すべきと感じる。

○柏市では、今、日本全体の課題である医療費の高騰、健康管理、疾病予防という観点からの取り組みを見させていただいた。今後、対象の拡大や、医師との連携などが課題という印象を受けたが、このプロジェクトも他地域への横展開が期待される事業。

#### 【須藤構成員】

○健康管理、健康都市づくりには、医療従事者、特に医者等の関与が必要。柏市の事業にも将来的には参画していただくべきだが、市長もその方向でお考えであった。今後大いに期待しているところ。

#### 【徳田構成員】

○柏市の事業について、今回のプロジェクトは実施期間が短かったが、多くの期間が協力し合って、短期間の間にいくつかのサービスがユーザーアンケートがとれるレベルまで実現できていた。取得したデータを2次利用して新しいビジネスが算入できるところまでの議論が進むと非常に良いモデルになる。

### (2) 検討部会からの報告

徳田構成員より、資料3-2に基づき、検討部会における検討状況について報告が行われた。

### (3) フリーディスカッション

主な発言は以下のとおり。

#### 【石原構成員】

○昨年度実施した事業において様々な課題が洗い出されている。これは、まさにパイロットプロジェクトとしての成果であり、今後も引き続き課題の洗い出しと、問題の解決を行い、ノウハウの共有を図ってほしい。

○共通プラットフォームの目的は、地域が持つ行政、インフラ、商業などの各種データを他の地域と共有し、利便性の向上とコストダウンを図るということだと認識している。何かを作るときにどの部分を標準化して、どの部分に独自性を持たせるかという判断は大変難しいことだと思うが、各地域が特別仕様でそれぞれ作ってしまうと時間的にも費用的にも非効率。自治体と企業がこの共通プラットフォームを活用してデータの標準化、オープン化を進め、ビッグデータ時代にふさわしい、住みやすく便利で安心なまちを、より低コストで築いてもらいたい。

- データ連係をより効果的に行うための道具として、共通番号制度の積極的な利用をお願いしたい。
- 共通プラットフォームがそれぞれの自治体やベンダーの思惑で独自路線に走らないように、引き続き絶えざるメンテナンスをしていくことが重要。
- 新たに加わるプロジェクトの実施にあたっては、これらのプロジェクトがバラバラに動いて、時間的、資金的な非効率を生まないよう、また、各地に横展開ができるよう、これまでのプロジェクトで得られた数多くの教訓を活かしてICT街づくりに取り組んでほしい。

#### 【岩沙構成員】

- 柏市の取組への視察と地域懇談会での熱心な議論について深謝。柏の葉プロジェクトは、スマートシティのモデルとして昨年1年間で304件、3,000人以上の方に視察いただいた。海外、特にアジア諸国からの視察が増えており、課題先進国である日本の課題が、他国にも国家的な課題として浮かび上がっていることを実感。実証プロジェクトを通じて日本のICTを活用した街づくりのスタンダードとなるようなモデルを作り上げ、アジア諸国で積極的に導入されることを期待。
- 検討部会からの報告内容について、実証プロジェクトの展開・加速、共通プラットフォームの実現、実証プロジェクトで得られた成果の普及・展開のための体制整備の3つの柱が、並行的にではなく、実証プロジェクトで得られた知見を共通プラットフォームの仕様に反映させていくという形で、優先度付けと順序立てを組み込めれば、より立体的なロードマップとなる。その意味で、2015年に実現することになっている共通プラットフォームは重要。
- 2020年が普及展開のゴールという設定は、スピード感はあるが、今の時代を考えると、ICTスマートタウンの普及展開についてはもっと加速する必要がある。実証プロジェクトを展開させて、共通プラットフォームの仕様と標準を決めてデファクト化して、という積み上げも重要だが、実際にはすり合わせが大変で、遅れがちになることを懸念。
- 欧米諸国や韓国、シンガポール等も日本の動きをにらみながら、ICT街づくりの担い手となるべく積極的に取り組んでいる。国際競争の観点からも2020年までに誰が何をするかを具体的に打ち出すだけでなく、できるだけ前倒しして、例えば目標を2018年にしたら取り組み方がどうなるのかというバックキャストアプローチも検討すべき。

#### 【清原構成員】

- ICT街づくりにおいて、地域格差のない全国的な展開を図る上で、「共通プラットフォーム」という技術的な基盤の確立は不可欠。これまで各自治体における電子自治体の取組についても共通のプラットフォームを持たず、開発や運用

にコストがかかるため消極的だった。今後、地方自治体が主体的に関与するためにも、またコストの面からも、「共通プラットフォーム」の2015年までの実現に向け、本会議で強力な提案ができればと思っている。

- 「民学産公官の連携」が必要であると言われているが、塩尻市や柏市の事例を見ても、専門家の参画が重要であることを実感。医師やヘルパー、医療機関や子育て支援機関等との連携が重要であり、より幅の広い担い手の登場を期待。
- ICT街づくりでは番号制度も有効に使っていくべき。検討部会でも「個人情報の適切な利用」と「セキュリティ対策」について議論を行っているが、命を救うために個人情報を利用する上で、「個人情報保護」やシステムの「セキュリティ」が技術的にも制度的にも万全であることを確保することが重要。
- 街づくりにあたっては首長の熱意、理念が極めて重要であるが、首長が替わるとその仕組みが動かなくなるといことがあってはならない。首長の思いも大切だがそれをサポートする体制の構築が極めて重要。
- サステナブルな仕組みを構築するためには適正なコスト負担の在り方についての認識を持つことが重要。コストパフォーマンスの面や持続可能性についても取りまとめの中に明示していくことで、先行プロジェクトを実施した地域の住民にもポジティブな効果があらわれ、その成果が国内外に波及することを期待。

#### 【村上構成員】

- 柏の葉の取組内容を伺い、相当成熟度の高いものであり、現段階でも日本を代表するスマートタウンの1つのケースとして積極的に外に発信していくべき取組であると感じた。他のプロジェクトも進んで行く中で、早い時期に国際的な発信を考えたい。
- 検討部会の取りまとめから非常に高いレベルでの検討が進んでいることを実感。現在は実証面での取組が中心になっているが、今後その成果を実際に住民に対しどれだけのメリットとして提供できたかを可視化できるかというところに重点が移っていく。住民のメリットに対する評価が今後の課題であり、ここにエネルギーを注いでいく必要がある。
- ロサンゼルス市では渋滞緩和を図るために、カープール制度という、6車線ある道路のうち1車線は2人乗り以上の車しか走れないという制度になっているが、通勤が主体のロサンゼルスでは、朝の渋滞時にそのレーンにはほとんど車がない。それを1人乗りでも料金を払えば通れるように、交通量に従って料金を変えていく制度を構築できないかという問題意識を交通局が持っている。そのために地面に埋め込んだセンサーのデータを使って、渋滞のリアルタイム評価システムの構築などを1年間かけて行い、そのプロセスを全部可視化している。その1つのことを実証・評価するのに200億円近くのお金を使っており、評価にそれだけのエネルギーをかけていることに感銘を受けた。我々のプ

プロジェクトについても、そのくらいのエネルギーをかけて住民メリットの明確化ということを知りやすく出していくことが重要。

- これからマイナンバーが制度化されるが、税・社会保障以外の目的での利用は難しい。このICTスマートタウンの取組はそうした規律を超えて広い分野で横串を刺す形で共通プラットフォームを考えようという理念で進んでいる。実現のためには技術的な議論は勿論だが、同じレベルでの制度的な議論も不可欠。官と民の役割分担の含め、明確なガイドラインが出来れば、プロジェクトそのものの成果と同時に大きな波及力が期待できる。

#### 【徳田構成員】

- 検討部会からの報告については、本日いただいた指摘を踏まえ修正を行いたい。

#### 【須藤構成員】

- 各地で優れた実証実験を展開し、評価し、共通化していくという、検討部会における作業は、EUがFP7のF I - P P Pで行っているやり方と同じプロセスをとっている。EUは、域内でパイロット事業を展開し、優れたもののみを取り上げ、その共通アプリを作って技術標準化をヨーロッパ主体で行いつつ、それを世界に展開したいというやり方であり、我々もこれに対抗しなければならない。そのことを良く意識された取りまとめ（案）だろうと思うが、岩沙構成員がおっしゃったように、ゴールの前倒しは、世界との競争を考えても意識して行うべき。
- 共通プラットフォームにおけるデータ連係は、実際はかなりハードルが高い。地域情報プラットフォームにおいても、XMLによるメタデータの作り込みはベンダーごとにバラバラ。また、文字コードについても、Unicodeという世界的な標準はあるが、各ベンダーごとに外字をバラバラに作っている。政府が共通化しろと言っても、なかなか簡単にはいかない。そのため、文字化けやディスプレイ上で表示がバラバラになることは往々にしてある。
- 番号制度による社会福祉、医療のデータ連係や、スマートグリッドで電力のデータ管理をやろうと思ったら、その際をなくす取り組みが必要で、関係省庁が連携して政府が強力に呼びかけるしかない。今がチャンスであり、このチャンスを逃すと、またバラバラになって、データ連係など絵に描いた餅になってしまう。また、業界の賛成をぜひ得たいと思っており、そうしないと、次の大きなビジネスは展開できず、米国に負けるべくして負けるということになる。総力を挙げて、産官学の連携でやっていただきたい。

#### 【小宮山座長代理】

- ICT街づくりの各プロジェクトについては、進捗状況や成果をICTで報告する、あるいは吸い上げるというところに、10%程度の予算を充てても良い

のではない。共通プラットフォームは電子図書館を作るようなものであり、中に本がないと意味がない。色々な本をどのようにつなげるか議論を行っているが、具体的なプロジェクトの成果にあたる本がないと、2015年にできるのは枠組みだけで実際には使えない。また、本を書くところも極めて重要で、互換性があるように因数分解し、使えるようなプラットフォームにすることが必要である。

- プラットフォームの検討作業は、今後のどのように動いていくのか。常置で動くのであれば、財源や人員はどうするのか。また、各プロジェクトの状況や成果がどのようになっているのかは、クリックしたら見えるようにICTで実装してほしい。

#### 【事務局】

- 検討部会に関しては、本日の議論を踏まえて方向性をまとめていただく予定。それを踏まえ、具体的な共通プラットフォームの開発体制づくりを行いたい。
- 実証プロジェクトの見える化等については、受託者側に条件付けすることも考えながら、引き続き検討したい。

#### 【岡座長】

- 小宮山座長代理より、ICT街づくりの各地域において、他地域のモデルとなる「本」を作り、横展開するという意見があったが、取組内容をリファレンスとして整理整頓しておくことは必要。今後は実証プロジェクトの成果から共通プラットフォームを作り、国内に横展開、並行的に海外展開をしていければ。
- 最終的なゴールが2020年では遅いという意見があり、2018年ではどうかというアイデアもあったが、これについては事務局も含め検討する。
- 住民メリットの具体化についてもきちんとフォローしていきたい。現在行っている実証事業では対象人数が少なかったり、住民からの認知度が低いといった問題もあり、住民にもっと知らしめないと住民メリットを明確化することは出来ない。この点についてはそれぞれのプロジェクトの中で注力していかななくてはならない。
- マイナンバーの活用については、当面は社会保障と税であり、それ以外のことに活用するまでには時間がかかると感じている。国全体でいきなりマイナンバーをあらゆる分野で活用するというよりは、地域ごとに抵抗の少ない分野から活用し、住民の意識改革を促す、あるいは希望した住民にだけ共通ナンバーを使っただけ、メリットを感じていただく事例を作るなど、1つ1つ積み重ねていくことが必要。
- 明後日5月23日に行われる第3回ICT成長戦略会議の場では、検討部会からの報告と、本日いただいたご意見を中心に紹介させていただく。

以上